

2021年3月期 決算説明資料

2021.5.12

TIS株式会社

2021年3月期 業績概要

- ・11期連続増収、10期連続営業増益、計画達成
- ・受注高、受注残高ともに前期比増加で着地

2022年3月期 業績見通し

- ・DX需要等を追い風に増収増益を計画、成長投資も継続

株主還元

- ・総還元性向を引き上げ、配当は10期連続の増配を計画

2021年3月期 業績概要

2022年3月期 業績見通し

株主還元

参考資料

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間（3カ月）の数値は累計期間の差引により算出しています。
- ・各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。
- ・特定顧客について金融業界に特化した専門的な業務ノウハウをベースとしたビジネスから、当該業種ノウハウの汎用化・テンプレート化した知識集約型のビジネスへの展開により、当該顧客との取引は、2020年3月期は金融IT、2021年3月期以降はサービスITに計上されています。⇒影響ページ：7・8・11・14・15・21・27・28

2021年3月期 業績概要

2022年3月期 業績見通し

株主還元

参考資料

- ・想定通り下期からの回復基調に期中に子会社化した企業の業績も寄与し、増収、営業増益にて着地。
- ・親会社株主に帰属する当期純利益は持分法による投資損失等の影響で前期比減少。

（百万円）	2020年3月期 通期	2021年3月期 通期	前期比	
売上高	443,717	448,383	+4,666	(+1.1%)
営業利益	44,839	45,748	+908	(+2.0%)
営業利益率	10.1%	10.2%	+0.1P	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	29,411	27,692	▲1,718	(▲5.8%)
当期純利益率	6.6%	6.2%	▲0.4P	—
1株当たり当期純利益（円）	116.78	110.51	▲6.27	(▲5.4%)
ROE	12.5%	10.8%	▲1.7P	—

- ・営業外収益：2,011百万円（前期比 +29百万円）
→受取配当金 847百万円 等
- ・営業外費用：8,502百万円（前期比 +7,751百万円）
→持分法による投資損失 6,033百万円、
貸倒引当金繰入額 2,053百万円 等

- ・特別利益：9,709百万円（前期比 ▲986百万円）
→投資有価証券売却益 9,497百万円 等
- ・特別損失：4,150百万円（前期比 ▲7,978百万円）
→減損損失 2,467百万円、投資有価証券評価損 1,111百万円 等

- ・売上高及び営業利益は、収益性向上や新規子会社の連結効果が想定を上回り計画達成。
- ・親会社株主に帰属する当期純利益は持分法による投資損失等の影響で計画未達。

（百万円）	2021年3月期 計画*	2021年3月期 実績	計画比	
売上高	445,000	448,383	+3,383	(+0.8%)
営業利益	44,500	45,748	+1,248	(+2.8%)
営業利益率	10.0%	10.2%	+0.2P	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	29,500	27,692	▲1,808	(▲6.1%)
当期純利益率	6.6%	6.2%	▲0.4P	—
1株当たり当期純利益（円）	117.77	110.51	▲7.26	(▲6.2%)
ROE	11.8%	10.8%	▲1.0P	—

*当社公表済の最新計画値、ROEは試算値。

2021年3月期 主要セグメント別損益状況（前期比）

(百万円)		2020年3月期 通期	2021年3月期 通期	前期比	
サービスIT	売上高	125,518	136,946	+11,428	(+9.1%)
	営業利益	8,198	8,695	+496	(+6.1%)
	営業利益率	6.5%	6.3%	▲0.2P	—
BPO	売上高	33,699	35,453	+1,753	(+5.2%)
	営業利益	2,622	3,105	+482	(+18.4%)
	営業利益率	7.8%	8.8%	+1.0P	—
金融IT	売上高	114,472	110,660	▲3,812	(▲3.3%)
	営業利益	14,936	15,320	+383	(+2.6%)
	営業利益率	13.0%	13.8%	+0.8P	—
産業IT	売上高	202,701	194,414	▲8,287	(▲4.1%)
	営業利益	19,159	18,710	▲448	(▲2.3%)
	営業利益率	9.5%	9.6%	+0.1P	—

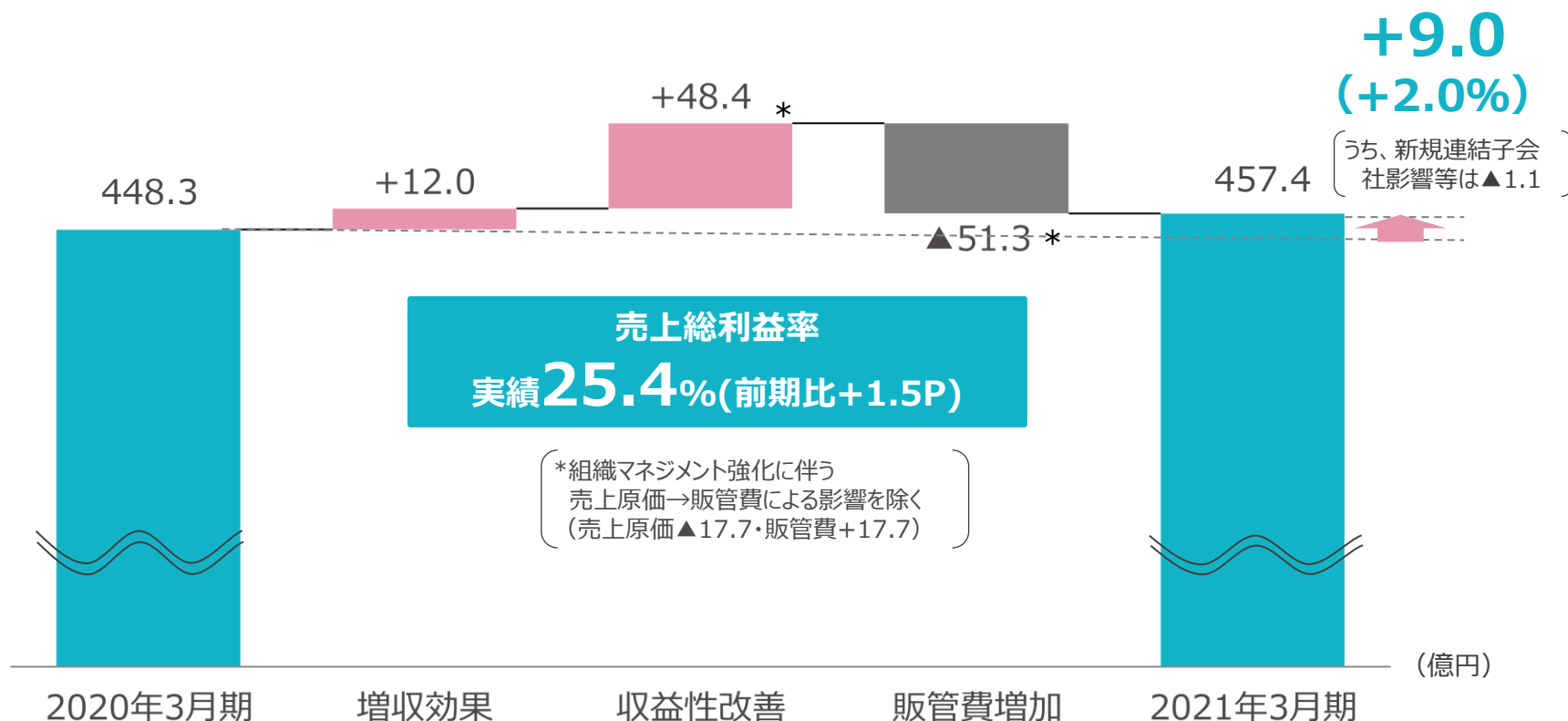
サービスIT：決済関連やクラウド関連の事業拡大が牽引、期中に子会社化した企業の業績も寄与し、増収増益。
 BPO：コールセンター業務をはじめとするアウトソーシング需要の増加基調や給付金対応等を受けて、増収増益。
 金融IT：根幹先顧客は堅調なものの、企業活動の停滞影響等により減収の中、案件採算性向上等により増益。
 産業IT：根幹先好調も、地方・中堅中小企業を中心にIT投資抑制が強く、減収減益。

2021年3月期 主要セグメント別損益状況（計画比）

（百万円）		2021年3月期 計画	2021年3月期 実績	計画比	
サービスIT	売上高	134,500	136,946	+2,446	(+1.8%)
	営業利益	8,800	8,695	▲105	(▲1.2%)
	営業利益率	6.5%	6.3%	▲0.2P	—
BPO	売上高	33,500	35,453	+1,953	(+5.8%)
	営業利益	2,600	3,105	+505	(+19.4%)
	営業利益率	7.8%	8.8%	+1.0P	—
金融IT	売上高	115,000	110,660	▲4,340	(▲3.8%)
	営業利益	15,300	15,320	+20	(+0.1%)
	営業利益率	13.3%	13.8%	+0.5P	—
産業IT	売上高	196,000	194,414	▲1,586	(▲0.8%)
	営業利益	18,100	18,710	+610	(+3.4%)
	営業利益率	9.2%	9.6%	+0.4P	—

サービスIT：期中に子会社化した企業の業績寄与等で売上高は計画達成も、不採算案件の影響等で営業利益は計画未達。
 BPO：顧客のBCPやテレワーク・分散化の加速によりアウトソーシング需要が好調に推移したことから、計画達成。
 金融IT：銀行をはじめとしてIT投資抑制が厳しかったことから、売上高は計画未達。営業利益は計画並みで着地。
 産業IT：IT投資抑制の動きが想定よりも強く売上高は計画未達。収益性向上の取り組みが奏功し、営業利益は計画達成。

2021年3月期 営業利益要因別増減分析（前期比）



構造転換推進のための先行投資コスト：前期比+1.2

(売上原価：+4.8 販管費▲3.6)

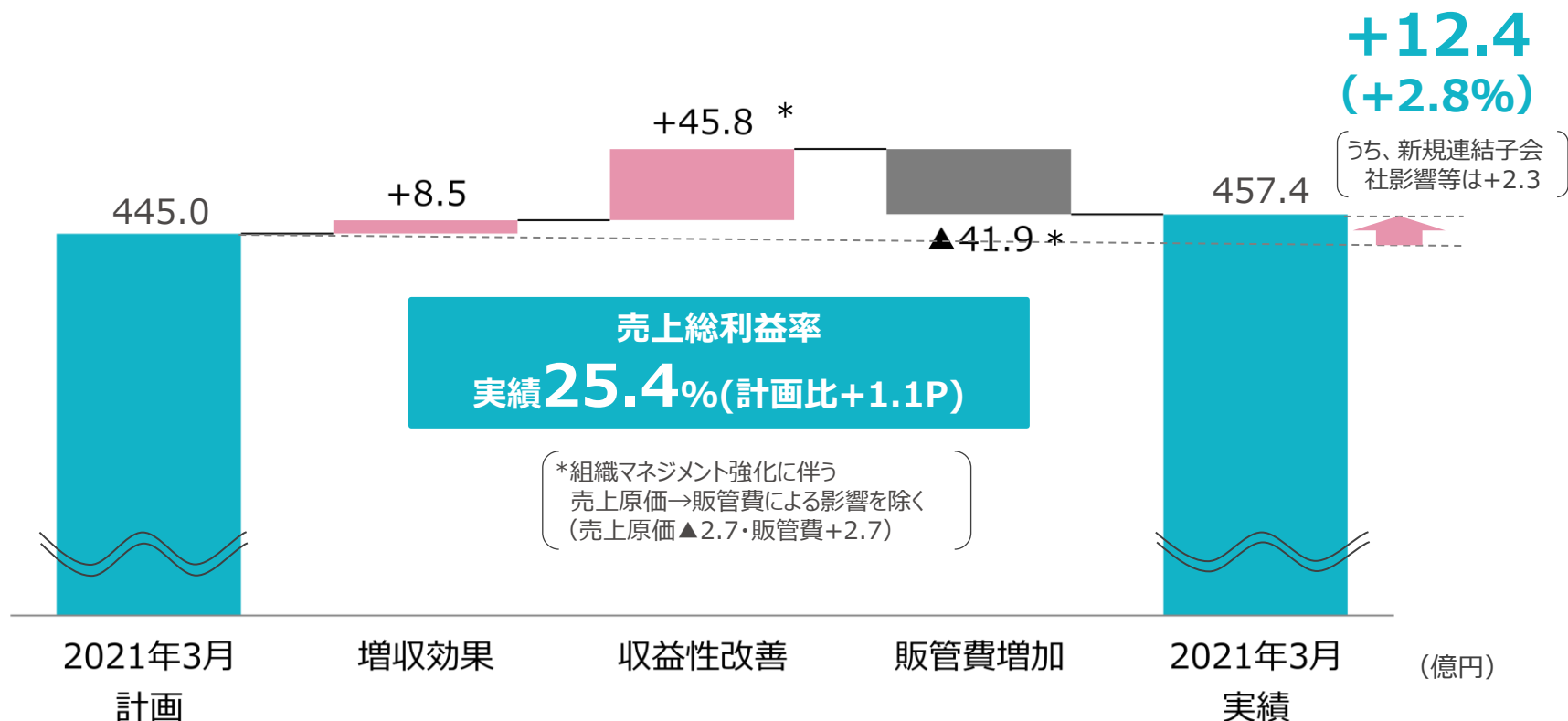
- ✓「新サービス創出のためのソフトウェア投資」
 - ✓「構造転換を促進するための人財投資」
 - ✓「先端技術獲得のための研究開発投資」
- に関するコスト

早期認知獲得のためのブランド関連コスト：前期比+7.0

<販管費増減>

処遇改善	+22.5
新規連結子会社影響等	+24.7
ブランド関連	+7.0
組織マネジメント強化	+17.7
経費削減・本社機能高度化	▲18.8
先行投資・その他	+15.9
計	+69.0

2021年3月期 営業利益要因別増減分析（計画比）



構造転換推進のための先行投資コスト：計画比▲9.8

(売上原価：▲0.3 販管費▲9.5)

- ✓「新サービス創出のためのソフトウェア投資」
 - ✓「構造転換を促進するための人財投資」
 - ✓「先端技術獲得のための研究開発投資」
- に関するコスト

早期認知獲得のためのブランド関連コスト：計画比+2.0

<販管費増減>

処遇改善	+22.5
新規連結子会社影響等	+8.8
ブランド関連	+2.0
組織マネジメント強化	+2.7
経費削減・本社機能高度化	▲8.8
先行投資・その他	+17.4
計	+44.6

(参考) 2021年3月期第4四半期 (1-3月)

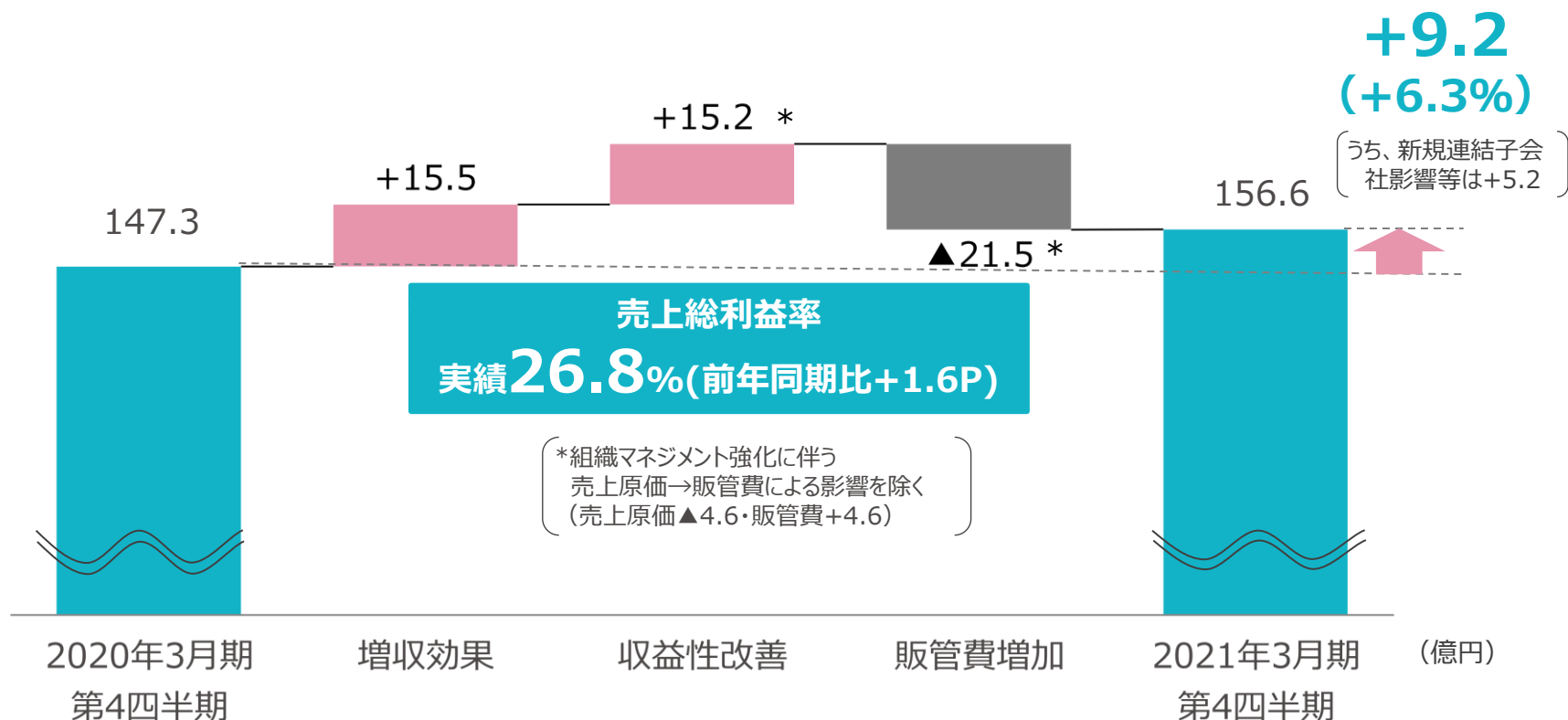
業績ハイライト・主要セグメント別損益

(百万円)	2020年3月期 第4四半期	2021年3月期 第4四半期	前年同期比	
売上高	124,707	130,350	+5,643	(+4.5%)
営業利益	14,736	15,660	+923	(+6.3%)
営業利益率	11.8%	12.0%	+0.2P	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,974	9,570	+595	(+6.6%)
四半期純利益率	7.2%	7.3%	+0.1P	—

主要セグメント別

サービスIT	売上高	35,617	43,251	+7,634	(+21.4%)
	営業利益	3,086	3,572	+485	(+15.7%)
	営業利益率	8.7%	8.3%	▲0.4P	—
BPO	売上高	9,080	9,427	+346	(+3.8%)
	営業利益	855	962	+107	(+12.6%)
	営業利益率	9.4%	10.2%	+0.8P	—
金融IT	売上高	32,509	30,062	▲2,446	(▲7.5%)
	営業利益	4,426	4,639	+213	(+4.8%)
	営業利益率	13.6%	15.4%	+1.8P	—
産業IT	売上高	58,194	56,508	▲1,686	(▲2.9%)
	営業利益	6,558	6,280	▲278	(▲4.2%)
	営業利益率	11.3%	11.1%	▲0.2P	—

(参考) 2021年3月期第4四半期 (1-3月) 営業利益要因別増減分析 (前年同期比)



構造転換推進のための先行投資コスト：前年同期比+2.3
(売上原価：+2.7 販管費▲0.4)

- ✓「新サービス創出のためのソフトウェア投資」
 - ✓「構造転換を促進するための人財投資」
 - ✓「先端技術獲得のための研究開発投資」
- } に関するコスト

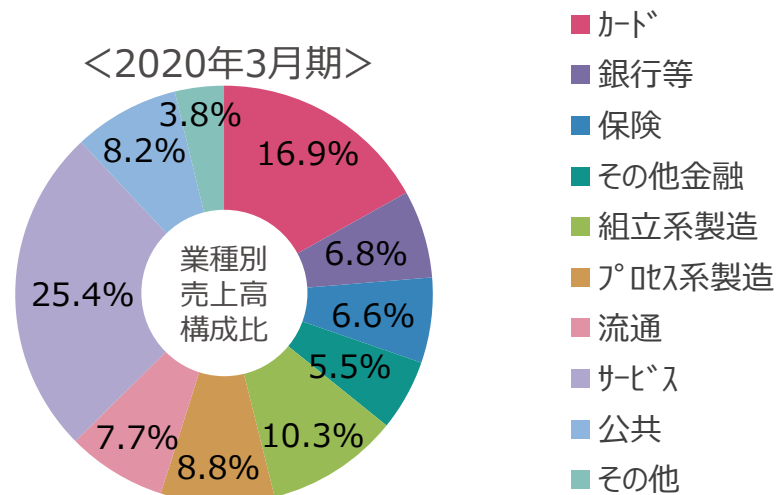
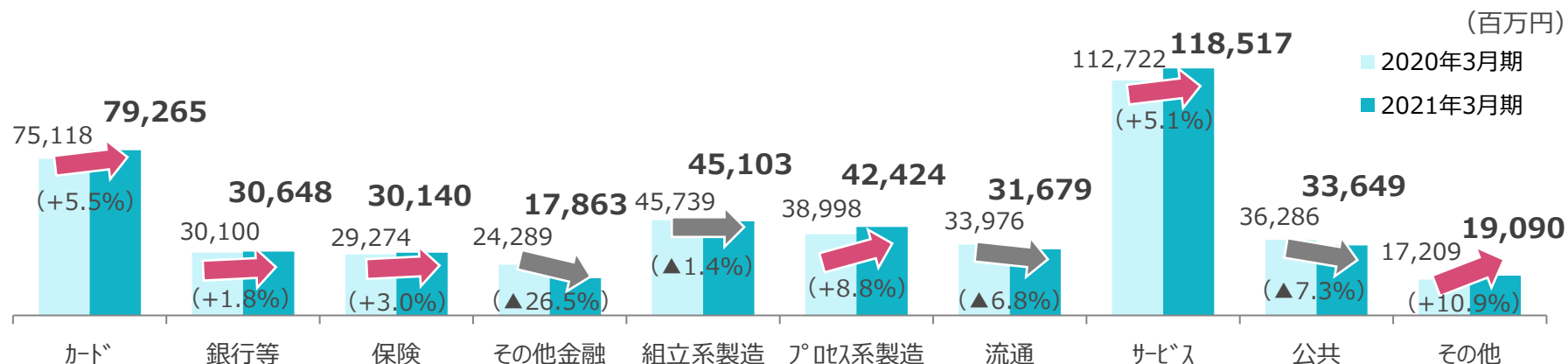
早期認知獲得のためのブランド関連コスト：前年同期比▲1.7

<販管費増減>

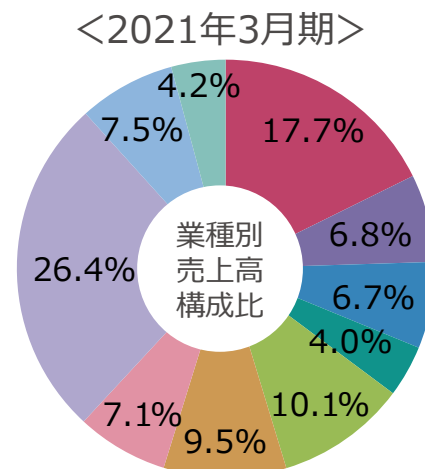
処遇改善	+8.1
新規連結子会社影響等	+12.6
ブランド関連	▲1.7
組織マネジメント強化	+4.6
経費削減・本社機能高度化	▲4.8
先行投資・その他	+7.3
計	+26.1

2021年3月期 顧客業種別売上高

・根幹先顧客を中心にカード・プロセス系製造が好調。新規子会社が銀行・サービスを押し上げ。



金融分野：35.8% 産業分野：52.2%
公共分野：8.2% その他：3.8%



金融分野：35.2% 産業分野：53.1%
公共分野：7.5% その他：4.2%

・下期から事業活動が正常化したことを受け、受注高、受注残高ともに前期比増加で着地。
（期中に子会社化した企業の増加分を除いても前期比増加）

（百万円）	2020年3月期 通期	2021年3月期 通期	前期比	
当期受注高	439,748	452,284	+12,535	(+2.9%)
サービスIT	111,929	128,507	+16,578	(+14.8%)
BPO	30,688	32,702	+2,014	(+6.6%)
金融IT	117,015	113,921	▲3,094	(▲2.6%)
産業IT	180,116	177,153	▲2,962	(▲1.6%)
期末受注残高	133,121	147,214	+14,093	(+10.6%)
サービスIT	34,434	44,421	+9,987	(+29.0%)
金融IT	44,456	48,114	+3,658	(+8.2%)
産業IT	54,230	54,678	+447	(+0.8%)

- ・受注高は通期では前期比減少だが、四半期ごとに状況が改善し、第4四半期にはプラス転換。
- ・受注残高も第4四半期の受注高増加を受けて、前期比増加で着地。

（百万円）	2020年3月期 通期	2021年3月期 通期	前期比	
当期受注高	246,330	237,323	▲9,007	(▲3.7%)
サービスIT	53,741	55,037	+1,295	(+2.4%)
金融IT	73,249	68,490	▲4,759	(▲6.5%)
産業IT	119,339	113,795	▲5,543	(▲4.6%)
期末受注残高	79,277	83,797	+4,520	(+5.7%)
サービスIT	15,309	20,367	+5,058	(+33.0%)
金融IT	28,400	28,541	+141	(+0.5%)
産業IT	35,566	34,887	▲679	(▲1.9%)

（参考）直近四半期

（百万円）	2020年3月期 第4四半期	2021年3月期 第4四半期	前年同期比	
当期受注高	71,321	75,303	+3,981	(+5.6%)
サービスIT	12,321	13,974	+1,652	(+13.4%)
金融IT	25,452	24,784	▲668	(▲2.6%)
産業IT	33,547	36,544	+2,996	(+8.9%)

2021年3月期 貸借対照表、キャッシュフローの状況

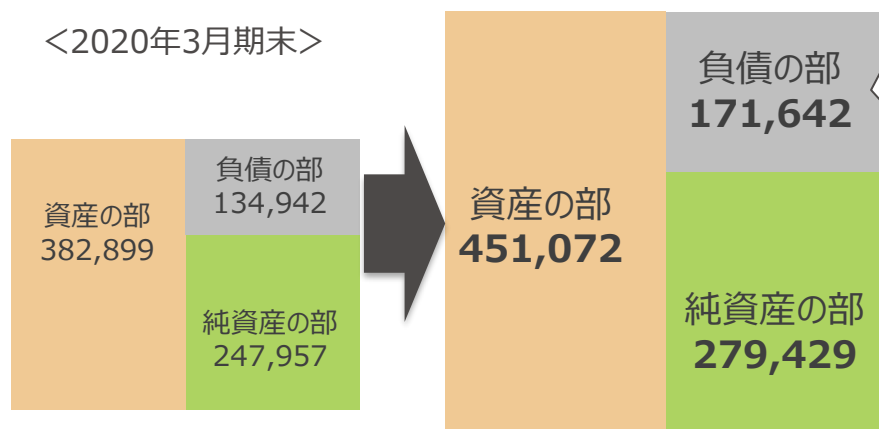
- ・不測の事態に備えた借入金増加により自己資本比率はやや低下したが、高水準を維持。
- ・積極的な成長投資を継続しながらも、フリーキャッシュ・フローは前期比増加。

貸借対照表の状況

(百万円)

<2021年3月期末>

<2020年3月期末>



●資産の部：+68,172百万円

- ・流動資産：+48,421百万円
(現金・預金 +28,143百万円、受取手形・売掛金 +13,970百万円 等)
- ・固定資産：+19,750百万円
(建物・構築物 +5,205百万円、投資有価証券 +6,893百万円 等)

●負債の部：+36,700百万円

- ・流動負債：+12,436百万円 (短期借入金 +4,603百万円 等)
- ・固定負債：+24,264百万円 (長期借入金+17,532百万円 等)

●純資産の部：+31,472百万円

- ・株主資本：+17,794百万円
(利益剰余金 +19,883百万円、自己株式 ▲3,475百万円 等)
- ・その他包括利益累計額：+10,376百万円
(その他有価証券評価差額金 +8,728百万円 等)

●自己資本比率：60.0% (▲3.3P)

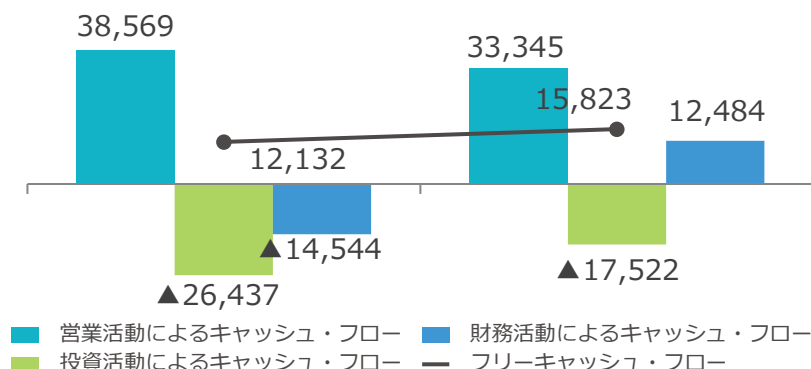
●有利子負債：43,629百万円 (+21,335百万円)

キャッシュ・フローの状況

(百万円)

<2020年3月期>

<2021年3月期>



●営業活動によるキャッシュ・フロー：▲5,223百万円

- ・税金等調整前当期純利益：+178百万円
- ・非資金損益項目：▲5,490百万円
- ・営業活動に係る債権債務増減：▲2,611百万円

●投資活動によるキャッシュ・フロー：+8,914百万円

- ・投資有価証券の取得：+25,943百万円
- ・投資有価証券の売却：+2,204百万円
- ・有形固定資産の取得：▲3,966百万円

●財務活動によるキャッシュ・フロー：+27,028百万円

- ・借入金・社債の純増減額：+25,768百万円

2021年3月期 業績概要

2022年3月期 業績見通し

株主還元

参考資料

- ・ニューノーマル（新常態）によるデジタル変革需要は強く、IT投資は回復傾向を見込む。
- ・長期的なIT投資拡大傾向や収束後の加速期待の見方も変わらず。

サービスIT

- ✓ DX化、キャッシュレス化の流れは進展するも移動制限によるクロスボーダー決済・インバウンド激減からの回復については不透明。決済プレイヤーも多様化し、競争環境は激化。
- ✓ クラウド型での提供ニーズは拡大。デジタル社会の進展に伴い、セキュリティ市場の成長も加速し、ともに需要拡大。
- ✓ 自治体行政手続きのデジタル化の流れは加速、スマートシティもPoCから次の局面へ。
- ✓ DXやクラウドが追い風となり、ERPの需要は復調の兆しが強まる。

BPO

- ✓ 企業のBCPやテレワーク、分散化の加速によるアウトソース需要の拡大傾向は持続。
- ✓ 長期化する人材不足、働き方改革推進によるデジタルイノベーションニーズは引き続き堅調。

金融IT

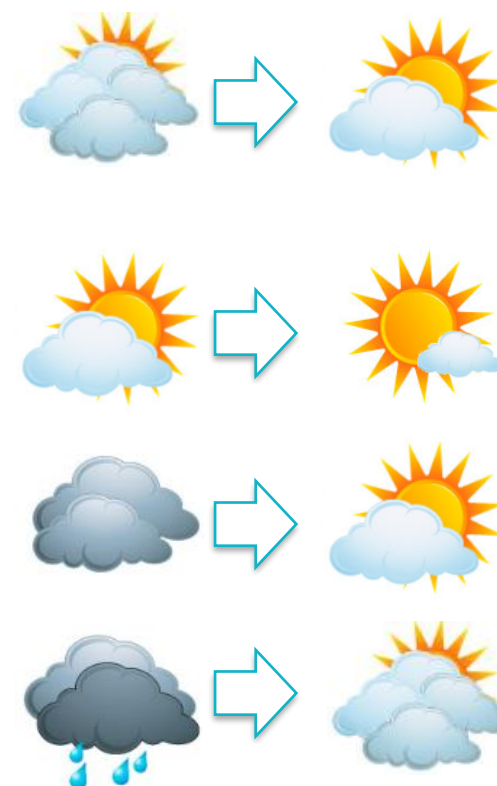
- ✓ 決済等の重要な社会インフラを支える事業は底堅い需要。
- ✓ 金融事業者の構造転換に伴う競争力強化への投資は拡大。
- ✓ オンサイトは顧客常駐業務の見直しによる需給バランスや企業の内製化の動きにも注視が必要。

産業IT

- ✓ 幅広い産業分野で競争力強化のための企業のDXへの取組は加速。
- ✓ 一方で製造業や中堅中小企業等は景気動向の影響が大きく、経済環境の回復動向に注視が必要。
- ✓ 電力・ガス分野では小売自由化、発送電分離等の改革対応は収束、今後はIT投資ニーズがビジネス改革目的にシフト。
- ✓ 公共・医療等の社会構造変化によってさらなる需要創造が期待。

<これまで>

<これから>



中期経営計画（2021-2023） 基本方針

ステークホルダーレイヤー

社会・社員との価値交換や持続的成長の善循環を生み出す

社会・社員との共創価値の善循環

ビジネスレイヤー

SI力を強みにグローバルDXパートナーへ進化

DX提供価値
の向上

次なる強みへ
投資拡大

グローバル経営
の深化と拡張

リソースレイヤー

構造転換を成し遂げる人材構成ヘシフト

人材の先鋭化・多様化

2022年3月期グループ経営方針

サステナビリティ経営による社会提供価値と企業価値向上への取組推進

マテリアリティに基づき事業を通じた社会課題解決を促進すると共にESG高度化施策を推進
持続的な経営基盤としてG20施策（本社機能の高度化/効率化）の推進

生産性革新とDX提供価値向上による高付加価値化への取組強化

SI成長のための生産性革新を推進及びDX価値向上への人材強化等の施策推進

財務健全性を堅持しつつ、DX価値提供力強化への成長投資

社会課題解決に資する事業を中心に重点投資を競争優位の源泉を確立

ASEANトップクラスのIT企業連合体を目指した成長戦略推進とガバナンス確立

海外事業戦略に基づく出資先との関係強化・共同事業展開、更なる市場深耕へ
グローバルパートナーシップ網の拡充

社員の働きがいの持続的向上とDX化を牽引する多様性に富む人材の育成

成長の原動力である多様な人材との価値交換性を高める仕組みづくりとデジタル化を牽引できる
人材への投資

- ・顧客のデジタル変革需要の取り込み等による事業拡大を背景として、増収増益の計画。
- ・前期中に子会社化した企業の業績が通期にわたって寄与。

(百万円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 計画*1	前期比	
売上高	448,383	470,000	+21,617	(+4.8%)
営業利益	45,748	48,500	+2,752	(+6.0%)
営業利益率	10.2%	10.3%	+0.1P	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	27,692	32,200	+4,508	(+16.3%)
当期純利益率	6.2%	6.9%	+0.7P	—
1株当たり当期純利益 (円)	110.51	128.78	+18.27	(+16.5%)
ROE *2	10.8%	11.5%	+0.7P	—

*1 「収益認識に関する会計基準」の適用による減収影響あり

*2 2022年3月期のROEは、試算値。

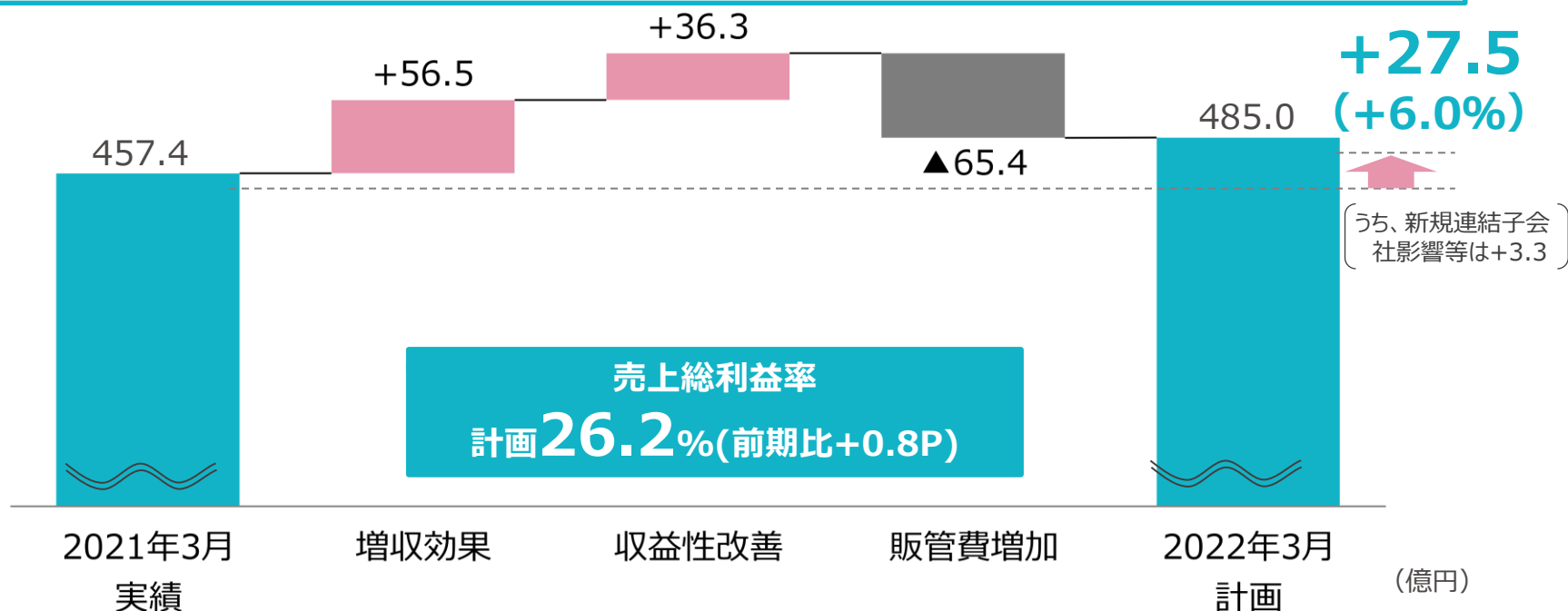
2022年3月期 主要セグメント別損益状況（予想）

(百万円)		2021年3月期 実績	2022年3月期 計画	前期比	
サービスIT	売上高	136,946	155,500	+18,554	(+13.5%)
	営業利益	8,695	10,800	+2,105	(+24.2%)
	営業利益率	6.3%	6.9%	+0.6P	—
BPO	売上高	35,453	36,000	+547	(+1.5%)
	営業利益	3,105	3,300	+195	(+6.3%)
	営業利益率	8.8%	9.2%	+0.4P	—
金融IT	売上高	110,660	117,000	+6,340	(+5.7%)
	営業利益	15,320	16,000	+680	(+4.4%)
	営業利益率	13.8%	13.7%	▲0.1P	—
産業IT	売上高	194,414	191,000	▲3,414	(▲1.8%)
	営業利益	18,710	19,200	+490	(+2.6%)
	営業利益率	9.6%	10.1%	+0.5P	—

サービスIT：決済関連ビジネスのIT投資需要の取り込みのほか、前期中に連結化した効果の通期寄与により、増収増益の計画。
 BPO：アウトソーシング需要の堅調な推移と収益性改善の継続により、増収増益の計画。
 金融IT：根幹先顧客を中心としたIT投資の増加を受けて、増収増益の計画。
 産業IT：減収計画は「収益認識に関する会計基準」の適用による影響。実勢ベースは堅調で増収増益を見込む。

2022年3月期 営業利益要因別増減分析（予想）

・高付加価値ビジネス推進や生産性向上等がオフィス改革コストを含めた積極的な成長投資に伴うコスト増を吸収し、営業増益を見込む。



構造転換推進のための先行投資コスト：前期比+25.0

（売上原価：+10.0 販管費+15.0）

- ✓「新サービス創出のためのソフトウェア投資」
 - ✓「構造転換を促進するための人財投資」
 - ✓「先端技術獲得のための研究開発投資」
- に関するコスト

働き方改革推進のためのオフィス改革コスト：前期比+35.0

（売上原価：+10.0 販管費+25.0）

<販管費増減>

新規連結子会社影響等	+20.1
オフィス改革	+25.0
ブランド関連	+0.0
経費削減・本社機能高度化	▲5.0
先行投資・その他	+25.3
計	+65.4

2021年3月期 業績概要

2022年3月期 業績見通し

株主還元

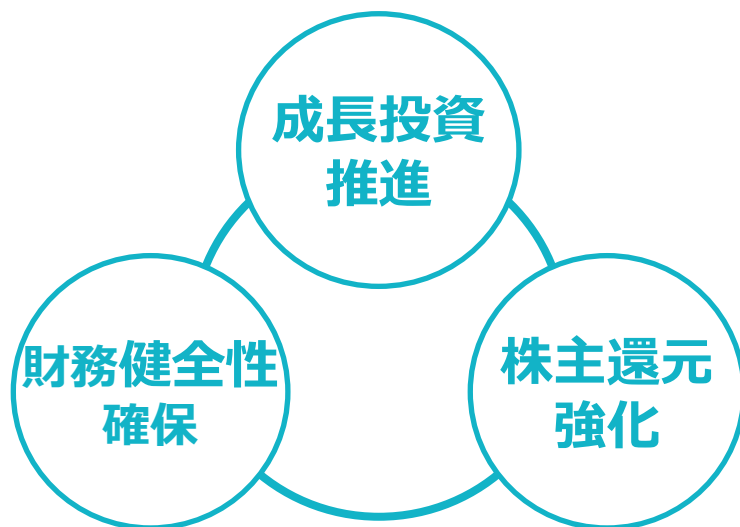
参考資料

総還元性向
45%
(40%から引上げ)

1株当たり配当
継続的な充実化

自己株式保有
5%程度を上限

成長投資の推進・財務健全性の確保・株主還元の強化のバランスのもと、資本構成の適正化を推進し、資本効率性の向上を目指す。



成長投資の推進

- 人材投資や先行投資、M&A等、成長投資を積極化。投資規律 ROIC8%を遵守し3年間で最大1,000億円の投資実行を想定。DX価値提供の向上や新技術の獲得推進により、戦略ドメイン比率60%・営業利益率11.6%を目指す。

財務健全性の確保

- 格付「A格」の維持を念頭に、月商2か月程度の現預金保有。

株主還元の強化

- 総還元性向の目安を40%から45%に引き上げた上で、1株当たり配当の継続的な充実化を目指す。
- 保有する自己株式は原則として発行済株式総数の5%程度を上限とし、超過分は消却。

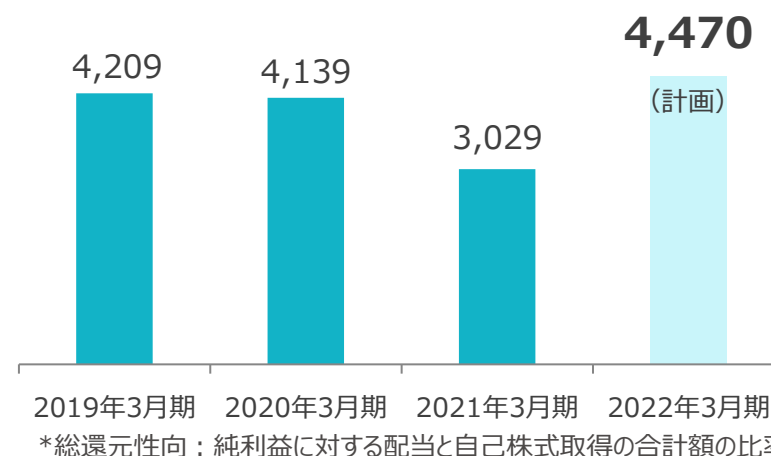
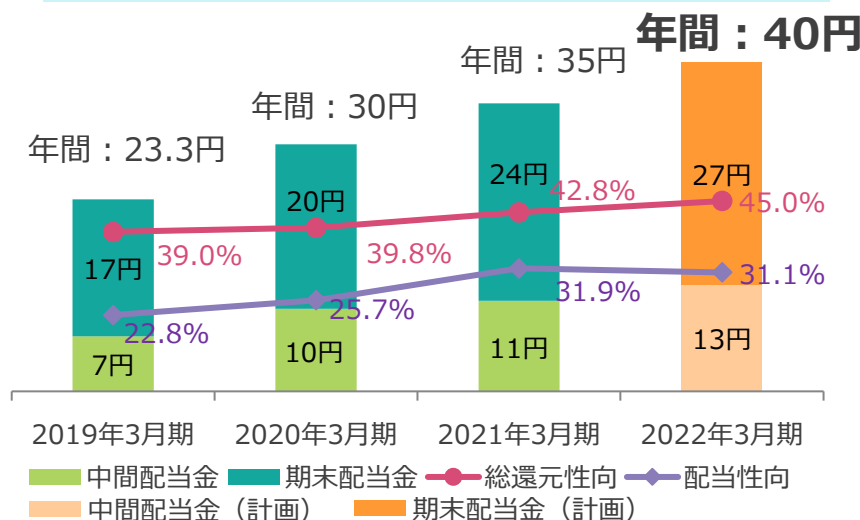
- ・2021年3月期は期初計画通りの年間配当（1株当たり35円）を実施予定。
- ・2022年3月期は総還元性向45%に引き上げ。1株当たり配当金は10期連続の増配を計画。

(百万円)	2021年3月期	2022年3月期
1株当たり年間配当金	35円 (前期比+5円)	40円 (前期比+5円)
自己株式取得総額	30.2億円	44.7億円
総還元性向	42.8%	45.0%
配当性向	31.9%	31.1%

*2021年5月12日発表の自己株式の取得内容による上限金額

1株当たり配当金等の推移

自己株式取得総額の推移（百万円）



*総還元性向：純利益に対する配当と自己株式取得の合計額の比率

2021年3月期 業績概要

2022年3月期 業績見通し

株主還元

参考資料

業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想）

(百万円)	2021年3月期 上期	2022年3月期 上期	前年同期比	
売上高	211,308	225,000	+13,692	(+6.5%)
営業利益	18,211	20,500	+2,289	(+12.6%)
営業利益率	8.6%	9.1%	+0.5P	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,277	13,700	+3,423	(+33.3%)
四半期純利益率	4.9%	6.1%	+1.2P	—

主要セグメント別

サービスIT	売上高	62,869	74,000	+11,131	(+17.7%)
	営業利益	2,572	4,300	+1,728	(+67.2%)
	営業利益率	4.1%	5.8%	+1.7P	—
BPO	売上高	17,066	17,500	+434	(+2.5%)
	営業利益	1,309	1,400	+91	(+7.0%)
	営業利益率	7.7%	8.0%	+0.3P	—
金融IT	売上高	53,590	57,000	+3,410	(+6.4%)
	営業利益	6,675	7,200	+525	(+7.9%)
	営業利益率	12.5%	12.6%	+0.1P	—
産業IT	売上高	91,473	90,000	▲1,473	(▲1.6%)
	営業利益	7,799	7,900	+101	(+1.3%)
	営業利益率	8.5%	8.8%	+0.3P	—

業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想）

(百万円)	2021年3月期 下期	2022年3月期 下期	前年同期比	
売上高	237,075	245,000	+7,925	(+3.3%)
営業利益	27,537	28,000	+463	(+1.7%)
営業利益率	11.6%	11.4%	▲0.2P	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	17,415	18,500	+1,085	(+6.2%)
四半期純利益率	7.3%	7.6%	+0.3P	—

主要セグメント別

サービスIT	売上高	74,076	81,500	+7,424	(+10.0%)
	営業利益	6,122	6,500	+378	(+6.2%)
	営業利益率	8.3%	8.0%	▲0.3P	—
BPO	売上高	18,387	18,500	+113	(+0.6%)
	営業利益	1,795	1,900	+105	(+5.8%)
	営業利益率	9.8%	10.3%	+0.5P	—
金融IT	売上高	57,069	60,000	+2,931	(+5.1%)
	営業利益	8,645	8,800	+155	(+1.8%)
	営業利益率	15.1%	14.7%	▲0.4P	—
産業IT	売上高	102,940	101,000	▲1,940	(▲1.9%)
	営業利益	10,910	11,300	+390	(+3.6%)
	営業利益率	10.6%	11.2%	+0.6P	—

2021年3月期第4四半期 プレスリリース/お知らせ①

発表日付	タイトル
2021年1月4日	TISインテックグループ 2021年 年頭所感
2021年1月4日	TISおよび、連結子会社の人事異動のお知らせ
2021年1月8日	アグレックス、大量の文章情報を知見・知識へ変える「Incubate Block テキストマイニング」の提供を開始
2021年1月8日	TIS、LGBTなど性的マイノリティへの環境整備を推進
2021年1月12日	簿標アナリティクス、APAC CIO Outlook Magazineが選ぶ「ビッグデータコンサルティング/サービス企業 TOP10」に選出
2021年1月12日	TISの健康サポートアプリ「ASTARI」医療従事者支援キャンペーンを開始
2021年1月13日	インテック、マネーフォワードと協業開始
2021年1月14日	ネオアクシス、プロセスマイニングツールの大手ベンダー独Signavio社とコンサルティングパートナー契約を締結
2021年1月14日	ネクスウェイ、売場写真共有アプリ『売場ノート』のAndroid版アプリを提供開始
2021年1月21日	TIS、RoboticBaseを活用したマルチベンダーロボット管理システムを「あいちロボットショーケース」に出展
2021年1月25日	TISとDataMesh、大林組の工事におけるBIM/CIM、Mixed Reality技術の活用に向けた試行を実施
2021年1月28日	ネオアクシス、「IBM iライフサイクル・サポート」を拡充
2021年1月28日	ネクスウェイ、関信地区国立病院薬剤師会のオンライン研修技術アドバイザーに就任
2021年1月29日	「ムーンショット型研究開発事業 新たな目標検討のためのビジョン公募」目標検討チームに採択
2021年1月29日	ネクスウェイ、ビレッジハウス・マネジメントにWEBブラウザ上からFAX送信可能な『NEXLINK』とSMS配信サービス『SMSLINK』を導入
2021年2月1日	TISおよび連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2021年2月1日	TISの連結子会社であるアグレックスとネオアクシスを合併
2021年2月1日	TISインテックグループ、CIロゴとブランドメッセージを刷新
2021年2月1日	インテック、マルチ環境リモート監視サービス（EINS/MCS MIRMO）がSSL/TLS暗号化通信接続に対応開始
2021年2月2日	TIS、決済・金融領域での事業創出を強みとするDXカンパニー、インフキュリオンと資本・業務提携
2021年2月3日	マイクロメイツ、Microsoft Teamsのオンライン会議機能に特化したクイックリファレンスを販売開始
2021年2月4日	「Spendia」と「transit manager」の連携により交通系ICカードの利用データを取り込み、スマホのみでの経費精算業務をさらに効率化
2021年2月4日	TISインテックグループ、テレビCMに川口春奈さん登場！ 古田新太さん、千葉雄大さんも出演 新テレビCM「マルっと事務処理」篇スタート！
2021年2月5日	TIS、「グッドキャリア企業アワード2020」大賞（厚生労働大臣表彰）を受賞
2021年2月9日	TIS、チャットボット「DialogPlay」をイオン保険サービスに導入
2021年2月10日	2021年3月期 第3四半期報告書
2021年2月10日	TIS、「サブスクリプション変革支援コンサルティングサービス」を提供開始
2021年2月12日	マイクロメイツ、新入社員教育に適したeラーニングを割引価格で利用できる「春のかんたん自己学習キャンペーン2021」を実施

2021年3月期第4四半期 プレスリリース/お知らせ②

発表日付	タイトル
2021年2月12日	ネクスウェイ、スーパーマーケット売場の欠品を自動で知らせる「欠品アラート」PoC参画企業を募集
2021年2月15日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2021年2月18日	インテック、クラウド環境の運用業務を支援する「クラウド運用支援サービス」の提供を開始
2021年2月19日	TIS、タイの流通大手Jay Martの DX推進子会社であるJ Venturesと資本・業務提携
2021年2月19日	インテック、3年連続で「スポーツエールカンパニー」「東京都スポーツ推進企業」に認定
2021年2月22日	ネクスウェイ、自身が望むビジョンに合わせて働く「場所」を選ぶ、遠方居住勤務制度のトライアルとオフィスリニューアルを実施
2021年2月24日	TIS、上場企業の非財務情報を可視化できる「非財務情報参照・点検サービス」の提供を開始
2021年2月25日	TISの人事異動のお知らせ
2021年2月25日	代表取締役の異動に関するお知らせ
2021年2月25日	「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」の再導入に関するお知らせ
2021年2月25日	第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ
2021年2月25日	ラディックスとネクスウェイ、芸能プロダクションGlanzに電子契約サービス『クラウド契約管理Sign』を導入
2021年2月25日	マイクロメイツ、費用を抑えて全社的な業務改革を実現する業務改善ツール「BPEC（ビーベック）」の販売を開始
2021年2月26日	インテック、衛星データを使用したデータ分析コンペティション「The 4th Tellus Satellite Challenge」で3位入賞
2021年2月26日	TIS、経理や営業事務などバックオフィス業務のデジタル化を加速する「ハイパーオートメーション実現サービス」を提供開始
2021年3月1日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2021年3月1日	TIS、人材発掘・育成のための自律型人材育成サービス「MIRROR FOR VISION」の無償トライアルを実施
2021年3月4日	ネクスウェイの『SMSLINK』、「BOXIL SaaS AWARD 2021」の「SaaS連携賞（API賞）」で大賞を受賞
2021年3月8日	ネクスウェイ、HiJoJo Partnersの個人投資家向けサイト「HiJoJo.com」に『オンライン本人確認サービス』『本人確認BPOサービス』を導入
2021年3月9日	インテックとインターシステムズ、札幌ハートセンターに「医療データ連携プラットフォーム」を導入
2021年3月10日	日本カードネットワークとTISが合併会社「tance株式会社」を設立
2021年3月11日	ネクスウェイ、第35回全日本DM大賞を2部門受賞
2021年3月15日	TIS、健康状態を数値化する「パーソナルスコア®」の提供開始
2021年3月17日	TIS、「ACTIONARISE取引データ管理サービス」をDMM.comグループの本社機能である合同会社DGホールディングスに導入
2021年3月18日	TISインテックグループ「健康経営優良法人2021」に3社認定
2021年3月19日	個人投資家向け会社説明会の資料・動画を掲載しました。
2021年3月19日	凸版印刷とTIS、ローカル5G接続での技術連携を開始
2021年3月22日	エンドユーザーと自社アプリの接点を拡大・強化できるWidget配信プラットフォームサービスの新サービス「チャット機能」がTOYOTA Walletで採用
2021年3月23日	TISと東芝データ、スーパーシティ構想の実現に向け地域ウォレット「会津財布」と「スマートレシート®」を連携
2021年3月24日	TISの健康活動サポートアプリ「ASTARI」とライフログテクノロジーのヘルスケアアプリ「カロミル」がキャッシュレス決済による食事の自動記録を実現

ITで、社会の願い叶えよう。



TIS INTEC
Group

＜本資料の取り扱いに関して＞

本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。